

生き方を学ぶスポーツ教室になりました 空手家の宇佐美里香さんの演武とお話

羽合小学校の子ども達に、日本や世界で活躍している方の技を見せたい。これから成長していく子ども達に、夢や憧れを持ち、その実現のために努力することの大切さを感じてほしい。そのような思いから、鳥取県教育委員会のトップアスリート事業を活用し、世界で活躍されている空手家の宇佐美里香さん（現在、鳥取市在住）をお招きして、スポーツ教室を開きました。参加したのは3・4年生の中学年。オープニングはいきなり宇佐美さんの演武から始まり、世界一の技を見せてくださいました。

世界一の空手の演武は、技のスピード、きれ、流れるような連続技、すばやいスピードで繰り出される技が空を切る音、ひきしまった表情、するどい気合い、どれをとってもすばらしいものでした。子ども達は初めて見る世界レベルの凄さに圧倒されました。

演武の後にはDVDで、世界選手権で優勝した映像を見ながらお話を聞きました。

「全日本空手道選手権で5度優勝、アジア大会も3度優勝し日本代表として臨んだ最初の世界選手権で優勝できなかった。負けた自分が悔しくてこれ以上できないくらい練習した。泣いたこともいっぱいあった。そして迎えた世界大会。会場につめかけた約2万人の観客から、競技の途中から拍手が起こり、演武が終わったときは観客全員がスタンディングオベーションで祝福してくれた。あの時の感動は今でも忘れられない。世界選手権で優勝できたのも周りの人の支えがあったから。あのときの失敗が私を強くさせてくれた。大切にしていることは、情熱（好きでいられること）、努力（人より何倍も）、感謝（周りの支えに）、感動（人に感動を与えられるように）」



講義の合間に、突きや蹴りの実技指導もあり、空手に少しでも触れることができました。子どもたちに質問や感想を求めると次々と手が挙がりました。「自分にはやっています。今まで以上にがんばりたいと思います。」「もっといろんなことに挑戦したいです」「もっともっと練習して強くなりたいです。」

宇佐美さんのお話は、子どもたちの心に響くものがあったと思います。今の自分を、そしてこれからの自分を考えることができた素晴らしいスポーツ教室でした。

2年生は 縄跳びのスペシャリスト

11月末には、米子市の尚徳小学校の三村大輔先生をお呼びする予定です。縄跳び世界一の三村大輔さんは全日本ロープスキッピング選手権大会で6回優勝していて、世界でも活躍されている方です。全校で技を見た後、2年生と一緒に縄跳びをする予定です。